



講演会

中国経済の行方

～「米中貿易戦争」の先にあるもの～

中国は昨年、改革開放 40 年を迎えました。この間、紆余曲折を経つつも中国は高度経済成長を遂げ、米国に次ぐ「世界第 2 の経済大国」となりました。直近の数年は成長率の低下が続き、成長方式の転換を喫緊の課題としながら、建国 100 年までに製造業において世界の前列に立つ野心的な政策を進めています。そこに勃発したのが「米中貿易戦争」です。今回は、改革開放以後の中国経済の発展の経過を振り返ったうえで、「米中貿易戦争」のもつ意味について考えてみたいと思います。

日時

平成 31 年 4 月 20 日 (土) 開場：14 時

講演：14 時 30 分～16 時

会場

成美教育文化会館 1 階ギャラリー

東久留米市東本町 8-14 (東久留米駅北口徒歩 5 分)

TEL：042-471-6600

入場料

無料 (当日直接会場にお越しください)

講師

駒形 哲哉 慶應義塾大学 経済学部教授


1965 年生まれ、慶應義塾大学経済学部卒、同大学院経済学研究科博士課程単位取得退学、博士(経済学)。

(財)霞山会職員、獨協大学経済学部専任講師、慶應義塾大学経済学部准教授などを経て、2011 年より現職。

経済学部運営委員・学習指導主任、日本中小企業学会理事、東アジア研究所副所長、前・中国経済経営学会副会長。

著書に『中国の自転車産業「改革・開放」と産業発展』慶應義塾大学出版会、2011 年(単著、第 7 回榎山純三賞、慶應義塾賞受賞)、『移行期中国の中小企業論』税務経理協会、2005 年(単著、平成 17 年度中小企業研究奨励賞経済部門本賞受賞)、『中国産業論の帰納法的展開』同友館、2014 年(共編著)などがある。



主催：  慶應義塾東久留米三田会

(連絡先：副会長 佐武 昇 TEL090-9835-1879)